

行事予定表		
7	火	巡回相談
8	水	読み聞かせ(5歳児)
9	木	カレーの日
11	土	保育参観・保護者会総会
14	火	ピヨピヨひろば
15	水	うれしいなおはなし会(5歳児)
〃	〃	交通安全教室(5歳児)／おべんとうデー
16	木	歯科検診(10:00～)／サロン
17	金	リトミック
22	水	尿回収日(配布日は20日)
23	木	内科検診(15:00～)
24	金	不審者対応訓練
30	木	誕生会
31	金	避難訓練

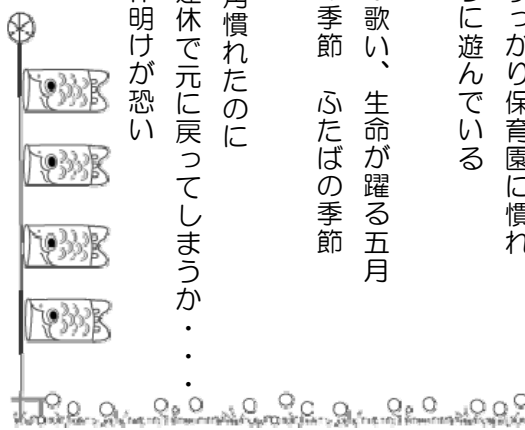
櫻の花びらが風に舞って  
あっといふ間に散っていくと  
柔らかな新緑が野山に萌え  
花々が咲き競う

風薫る五月  
鯉のぼりが爽やかな風に乗って  
気持ちよさそうに泳いでいる

お部屋からは、  
子ども達の歌声が流れてくる  
もう、すっかり保育園に慣れ  
楽しそうに遊んでいる

小鳥達が歌い、生命が躍る五月  
子どもの季節 ふたばの季節

PS  
折角慣れたのに  
10連休で元に戻ってしまうか・・・  
連休明けが怖い



**今月の予定の中かたぎ...**

- 絵本の読み聞かせ(8日)  
・幼児教育指導員の宮本先生と栗山先生が、今年度も、毎月絵本や紙芝居を5歳児に読み聞かせに来て下さいます。
- カレーの日(9日)  
・今月から、5歳児が2歳児(ほしぐみ)の野菜洗いを手伝います。4歳児も5歳児と人参やじゃがいもを切る事に挑戦します。その他にも、5歳児が釜戸係・フルーチェ係・配膳の手伝いをします。今日はカレー一色の日です!
- 保育参観&保護者会総会(11日)  
・お忙しいとは思いますが、是非ご参加ください。詳細につきましては、先日のお知らせをご確認いただけますように。
- 交通安全教室(15日) 13時半～  
・今月も5歳児のみの参加です。車では、チャイルドシートを必ず着用しましょう。
- おべんとうデー(15日)  
・お弁当の中には要冷蔵のもの(ゼリー・プリン等)やピック・爪楊枝は入れないようにお願いします。今後は、暑い日もありますので、お弁当には必ず保冷剤を入れてください。今月も、子ども達の大好きなお弁当作りを宜しく願います。
- リトミック(17日)  
・今年度初めてのリトミック。講師の中島先生にご指導をして頂きながら、音やリズムを身体で表現することを日々楽しんでいきます。
- 尿検査キット配布(20日)回収日(22日)  
・尿検査は、お子さんの健康管理にとって大切なものです。必ず22日の朝、ご家庭で尿の採取をお願いします。詳しい内容は後日配布される「保健だより」をご確認ください。
- 歯科検診(16日)・内科検診(23日)  
・全園児に歯科受診・内科検診をお願いします。詳細は5月の「ほけんだより」をご覧ください。



**● 誕生会(30日)**  
・年に1回の大切な日。誕生児をみんなで心をこめてお祝いします。今月のお楽しみはエプロンシアターです。

**本当の楽しさ(楽しさの中味)**  
保護者の中には、本園の保育内容について、遊んでばかりで「勉強」の方は弱い、と言っている方がいるようです。幼児期の遊びは、生活そのものであり、人間としての基礎を培う学習そのものです。そこでは、友達との遊びを通して、人と関わる力や、様々な体験、活動の中で、創意工夫、考える力、創造力や想像力を育てます。お店屋さんゴッコ、郵便ゴッコなどで、言葉を豊かにして、文字や数への興味・関心を引き出し、自然に書いたり読んだりするようになります。小学校の学習の先取りをして、勉強で強いるようなことをして、学習への意欲を奪うようなことは、慎まなければなりません。▼また、遊んでばかりで、実際に楽しそうだけど、楽しいばかりで良いのだろうか、というご心配をする方がいますが、苦しいばかりで楽しくないよりずっと良いのです。実は、本当に楽しいことは、ただ楽しいばかりでなく、苦しく、つらいことがあるのです。本来、子ども達は、やりたがり屋、知りがり屋で、苦しくても辛くても挑戦して、頑張るのが好きです。そして、何度でも何度でも挑戦して、成功した時の達成感「やったー!」「できたー!」という時の爽快な気分、「僕はできるんだ!」「私はやれる!」という意欲と自尊心感情を心の内に蓄えていくことが、人として強くたくましく生きていく力になるのです。小学校以降の勉強や仕事をするに当たっても、この強い心が基礎になるのです。根性を振り回すのは嫌ですが、これが内面

から湧き出る「本当の根性」だと思います。

▼「遊び」は自主的・主体的なものですから、決して、他から押しつけられたり、強制されたりするものではありません。手の皮が擦り剥けて血がにじんでも、何度も挑戦を繰り返して、パツと逆上がりができた時のあの誇らしげな顔。達成感・自尊感情を育てます。私達は「すごい!やった!」と共感するだけでいいのです。余計な口出しをしてはいけません。子ども達の「学び」は、自分自身の直接体験の中から、自らの喜びを見出すことです。友達のAちゃんが、先生に手紙を書いて渡したら、先生が喜んでいたその姿を見て、私も書きたいと思った時、一気に書けるようになります。お母さんが、ただ、字を習わせようと、躍りになって教えても、面白くないことを体験させるだけで、あまり効果が無い事が多いように思います。▼何もやる気がなく、ただフラフラしていることは、楽しんで、決して楽しいことではありません。楽しさの中味は、できないことができるようになること、知らないことを知ること、その過程はとも苦しいけど、やりたい、知りたい、という意欲と努力の先に本当の喜び、楽しさがあるのです。そして、人として、最も大切なものを心と体に蓄積するのは、勉強だって、仕事だって、楽しい、やりたい、と自ら向かっていった時に、最も効果があります。他人から強制されたり、指示された時は、効果は出ないのです。大人の役割は、彼らがチャレンジしたくなる環境を整え、援助することだけです。

孔子も言っています。「知之者不如好之者、好之者不如樂之者」(これを知っている者は、これを好むものにはかなわない、これを好む者はこれを楽しむ者にはかなわない)

理事長 浅田精利

